
「高悪性度神経膠腫の全ゲノムシーケンス」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、高悪性度神経膠腫と診断され、脳脊髄腫瘍科にて手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

近年の遺伝子解析技術の進歩により脳腫瘍の発症の原因としていくつかの遺伝子の異常が明らかとされています。本研究では脳腫瘍研究を世界的にリードしているドイツのハイデルベルク大学神経病理学研究室との共同研究によって、脳腫瘍の中でも特に治療の難しい高悪性度神経膠腫を対象として、ナノポアシーケンシングという新しい遺伝子解析技術を用いて遺伝子全体の解読を行うことで、新たな診断や治療法の開発を目指す研究です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

腫瘍組織から抽出したDNA、および治療経過に関する情報

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である白畑充章が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

高悪性度神経膠腫と診断された患者さんの診療を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・研究実施機関：ドイツ・ハイデルベルク大学神経病理学 研究代表および責任者：Felix Sahn
埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科 研究責任者：白畑充章

4. 試料・情報の管理責任者

- <提供元機関> 埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭
- <提供先機関> ハイデルベルク大学神経病理学

5. 試料・情報の提供方法等について

- ・<情報> パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。
- ・<試料> 追跡可能な輸送方法により、個人が特定できないように加工した検体を専用容器に封入し、追跡可能な輸送方法により、ドイツのハイデルベルク大学神経病理学に送付します。
本研究に参加するにあたって、研究の科学的・倫理的妥当性について EU が定める法令等に基づいた手続きを行っております。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・研究により得られた結果等に関する相談がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 白畑充章

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：070-1799-4482（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：misrht@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：高悪性度神経膠腫の全ゲノムシーケンス

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 白畑充章